

コード	103020104
記入日	H26.5.30

課コード	118
課名	土木課
課長名	石司 貴英
担当者	永田 裕宗

事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 26 年度
------	----------

評価対象事業名称	町道曾根泊崎線新設事業
----------	-------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 23 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	8
施策コード	103	施策名称	しまを支える交通基盤づくり	項コード	2
基本事業コード	10302	基本事業名称	安全で快適な道路整備	目コード	3
事務事業コード	1030201	事務事業名称	単独事業費（道路）	細目コード	418
関連計画	新上五島町振興計画	法令・条例規則等	道路法、道路構造令 新上五島町町道の構造の技術的基準を定める条例 等		

計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を*****とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1)	新上五島町が管理する道路の利用者	(対象指標1)	曾根地区住民128人 (H25.4.1現在)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
(全体計画) ・新設延長 L=80.0m ・幅員 W=3.00 (4.00) m ・全体事業費 C=35,000千円	(平成25年度) ・新設延長 L=0 (55.2) m ・幅員 W=3.00 (4.00) m ・事業費 C=6,000千円 ・擁壁工 L=18.9m ・排水工 L=10.8m	工事進捗率	43.0%	43.0%	実施工事÷ 全体計画工事	平成27年度
		工事進捗率	17.1%	100%		平成25年度
		① (達成率分析)	事業計画どおり進捗している。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率（上段：全体、下段：評価年度）				
・本路線は曾根峠番岳線と曾根港湾臨港道路を結ぶ道路である。町道の幅員が狭く私有地を利用して離合しているが、衛生車輛等の作業の際には遠回りをして迂回している。道路を新設することにより、道路の迂回路として地域住民の利便性の向上を図る。		(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
		利便性の向上	-	-	-	平成28年度以降
		① (達成率分析)	道路を新設することにより、道路の迂回路として地域住民の利便性の向上が図られる。			
		② (達成率分析)				

実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		24年度以前	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① %	100	43.0	25.9	17.1	17.1	28.5	28.5		
	②									
成果指標	①									
	②									
総事業費 C (A+B)	千円	38,500	17,180	10,480	6,700	6,700	10,700	10,620		
直接事業費 A	千円	35,000	15,080	9,080	6,000	6,000	10,000	9,920		
人件費 B	千円	3,500	2,100	1,400	700	700	700	700		
内 従事職員数	人	0.5	0.3	0.2	0.1	0.1	0.1	0.1		
訳 人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	33,300	14,200	8,500	5,900	5,700	9,500	9,400	
	その他	千円								
訳 一般財源	千円	5,200	2,980	1,980	800	1,000	1,200	1,220		

評価 (CHECK)

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	道路管理者である町が行うべきものである。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	事業の途中であるが、計画どおり事業は推進されている。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ● ない	理由	ほぼ計画どおり事業は推進されているので、特別向上させる必要はない。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		● 代えられる ● 代えられない	理由	最小の経費で最大の効果をあげる設計で実施している。また、設計の電算化等により省力化を図っており、現在の人員を削減することはできない。	

改善 (ACTION)

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	特になし。
	今後、課題に向けた改善策	特になし。

2次評価	住民の安全で安心な生活環境の確保と整備、利便性を向上させるため計画どおり事業を進めること。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> <td>このまま事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業内容を見直して事業を継続</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業費を見直して事業を継続</td> </tr> </table>	1次	2次	3次		●	●		このまま事業を継続				事業内容を見直して事業を継続				事業費を見直して事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>類似事業と整理統合</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の休止</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>事業の廃止</td> </tr> </table>	1次	2次	3次					類似事業と整理統合				事業の休止				事業の廃止
	1次	2次	3次																															
	●	●		このまま事業を継続																														
				事業内容を見直して事業を継続																														
			事業費を見直して事業を継続																															
1次	2次	3次																																
			類似事業と整理統合																															
			事業の休止																															
			事業の廃止																															

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。